

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
342	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名 (原題/訳)</b>	
Survival analysis of head and neck squamous cell carcinoma: influence of smoking and drinking. 頭頸部の扁平上皮がんの生存分析：喫煙と飲酒の影響	
<b>執筆者</b>	
Farshadpour F, Kranenborg H, Calkoen EV, Hordijk GJ, Koole R, Slootweg PJ, Terhaard CH.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b>	
Head Neck. 2011 Jun;33(6):817-23.	
<b>キーワード</b>	
頭頸部悪性新生物、扁平上皮がん、喫煙、飲酒、アルコール、生存分析	
<b>要旨</b>	
<b>背景：</b> 頭頸部の扁平上皮がんと喫煙・飲酒との関連は報告されているが、これらが予後に影響するかどうかは明らかでない。	
<b>方法：</b> 喫煙・飲酒歴のある患者 1829 人と、ない患者 183 人の生存分析を単変量解析および多変量解析にて行った。	
<b>結果：</b> 頭頸部扁平上皮がん特異的生存率（原発がんおよび再発がんによる死亡）および頭頸部扁平上皮がん・2次がん特異的生存率（原発がん、再発がん、または2次原発がんによる死亡）は、喫煙・飲酒なし群に比べて喫煙・飲酒あり群では有意差はなかった（それぞれハザード比 1.26 [95%CI, 0.86-1.85]、1.34 [95%CI, 0.96-1.88]）。総死亡リスクは喫煙・飲酒群で有意に高かった（ハザード比 1.50 [95%CI, 1.16-1.93]）。	
<b>結論：</b> 喫煙と飲酒は頭頸部扁平上皮がんの発症の危険因子であるが、疾患予後については有意な影響はなかった。喫煙・飲酒はしかし全体の予後（総死亡）には影響しており、これらの薬物使用の中止の重要性が示された。	